

愛知スキー協通信 No.295

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2019年 9月1日

〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 Tel.052-201-4801 (Fax 共)

e-mail : aichiskikyokai@yahoo.co.jp

http://aichiskykyou.yukigesho.com/



編集：深雪スキークラブ

48期 クラブ力を考えて いこう

文責 愛知スキー協理事長・技術部長兼任 寺田 康男
(みんなで、一つ上の指導員を目指そうプロジェクトメンバー)



1、クラブやスキー協のみんなに任されて①困る事。②めんど
うくさいけど、比較的の苦にはなら無い事。③嬉しいこと
は？あなたなら 何ですか？

わたしなら（「 」内は、心の眩きです）

①・指示を任されて、覚える気は無いけど、はやくかたづけたい
から、手伝ってくれること。「3度手間だ！」

・一緒にやる気もないのに、何かしら聞いてはくるが、結局やってくれず、逆にやるはめになっ
てしまうこと。「この努力と時間は無駄かよ！」

・言葉のやりとりもなく、「意味わからん」と言われること。「聞く気ある？」

②同じことを何度も繰り返していても、変化、効果があるとき、独りでないとき。

③任されて、やってみて、みんなもできるようになったとき。

これが、クラブでなくて「フェスティバル開催準備」で考えてみてください！

よくあることですが、頼んだ人が、頼んだことをやっていなくて、違う人が期待外れで違うこ
とをしていると絶対に次に繋がらないよね！フェスティバルは、次を担う人に繋げる為のバトン
リレー行事です。

まかせること と やらせること どう違い どう愉快で どう不愉快？ 考えてみて！

2、第2回理事会 7/30(火)をチョットだけのぞき見報告します。(前回通信参照)

総会分散会のテーマに沿った「楽しさで何だ」という議論ができました。「それは、人それぞ
れだから、それでいい、分析する意味がわからない」という発言がありました。しかし、「楽
しさは人それぞれ変化するもの、どう変化をしている、どういう方向性にか、というところが
大切です。

「たのしさ = ^{イコール}満足度？」「たのしさ = ^{イコール}わくわく度？」「たのしさ = ^{イコール}自由度？」

どういう満足度合いで どういうわくわくさで どういう自由感なんでしょうか？

「たのしさ」という意味が、自分自身の気持ちとクラブの求めている方向性の一致は、クラ
ブ力の大きさ、重さの判断基準値ではないでしょうか？

理事会は、1年掛けて探ります。皆さんも一緒に考えましょう！



2019 夏の冒険学校 通称 (海の冒険学校・海冒)

8月12日~8月15日 輪島市皆月青少年キャンプ場

台風の影響を考え中止しました

今年も潮岬が取れず、以前冒険学校で行った皆月青少年旅行村キャンプ場で企画しました。

7月29日30日金子健二・遥親子と澤田で下見に行きました。予定が合わず合計15人しか集まりませんでした。台風10号で全体のことを考え中止としました。

澤田家(安利・知希・藍雅)は危なくなったらすぐ撤収ということで行きました。12・13日は予定の場所でスキューバダイビング。結構透明な水で水中の景色を見たり、貝を取ったり、泳ぎながら魚を見て釣りをしたりと楽しみました。貝は茹でていただきました。



スキューバダイビングの藍雅君

14日はサビキ釣りで小アジを大量ゲット、スキューバをした後、カワハギをすくって取りました。唐揚げ、刺身で美味しく頂きました。

3日間とも全く雨が降らず思ったより涼しく結構快適でした。13日やや風が強く吹きターフが倒れましたが昨年のように濡れたりとかの苦労は一切ありませんでした。下見の時アブがいたのでパワー森林香やハチアブジェットとアブ対策をしっかりしていきましたが、ハーフパンツだとどうしても虫刺されにやられます。藍雅が一番ひどかったです。ムヒの消費量が半端なかったです。知希曰く「最高に楽しかった、来た甲斐があった」とのこと。

15日は道の駅巡りをしながら帰ってきました。白川~清見間が通行止めで時間が掛かりました。愛知県暴風警報の中無事に帰ってきました。

(澤田)



アルペン競技用語解説⑮《大会の仕方4》 大会の準備

大会をすることを決めます。大会委員長が各関係者に依頼をし、運営する組織を作ります。どこでするのか検討し、スキー場にバーン確保等をお願いします。計測掲示等はスキー場に依頼するのが普通です。バーンそのものの使用が有料なところも多いです。放送設備・計測機器及び操作をする人を含め値段を決めたりボランティアを依頼したりです。大会によって規定がありそれに合致していることが条件です。東海ブロックの大会では、長さや高低差などきちんとしていません。多くの大会ではやむなく条件をクリアせずに行うことがあります。どんな大会ができるかを審査した公認バーンが申請で設けられています。以前はスキー場の名を高めるために大会を誘致する感じでしたが、今は収支が取れず大会がなくなっています。東海北陸中学生スキー大会、中部日本スキー大会等です。全国中学生スキー大会では引き受けるところが他になく野沢温泉スキーでしばらく行われます。次にエントリーです。我々の大会では予選はありません。エントリー代を決め、クラスごとに募集をします。普通一月くらい前に締め切る大会が多いです。(澤田)

ナイト ZOO (ナイトズー) は暑かった

深雪スキークラブの行事で8月17日(土) 東山動物園のナイトズーへ行ってきました。参加者はクラブ員10名と元クラブ員2名の計12名。

午後5時に正門前に集合。まだサンサンと日が注ぎ暑い。券を買う時から並び、園内は親子連れなどで大賑わい。飼育員によるアニマルトークがありそれも楽しみでした。5時半から「ラーテル」という動物のトークがあるので、「ラーテル」って何か知らないけどまずはそこへ。カワウソや象などを横目で見ながら、「ラーテル」舎到着。もうすでに柵の前に人だかり。隙間を縫って前へ。飼育員の人が登場し、「ラーテル」について、イタチ科でトカゲ、昆虫などの小動物を主食にするが、大のハチミツ好き。鋭い爪で蜂の巣を壊して蜜をなめる、などと説明がありました。実際にハチミツを檻の上の方の金網に塗りつけると、ラーテルが鋭い爪で器用に金網を登りハチミツをなめ、観客から「かわい〜い！」との声が飛んでいました。私も間近で見て舐めるしぐさや目元がかわいいと思いました。しかし柵の前は陰がなく、じっと見ているだけでも暑い。



金網を登ってハチミツをなめるラーテル

行っているかもと、岩井さんを残して出口に行きましたが見当たりません。迷子の放送をお願いしていたら、安藤さんから食事場所にいたと電話があり、みんなでホッ!と一安心。みんなそろいました。すでに閉園時間の8時半を過ぎましたが帰る人並みが一杯。動物園は人気です。参加者の中には小学生の時以来、50



すっかり暗くなった帰り道

私は久しぶりに会った元クラブ員と3人で近くの喫茶店に入り、冷たい物を飲んでおしゃべりして帰りました。(浅井)

その後はそれぞれ見たい動物のアニマルトークにと散っていきました。この日は6時はコアアラとは中類、6時半はマレーバクとハクトウワシ、7時はメダカといろいろありました。

7時半に集合して軽食と飲み物。やっと暗くはなりましたがまだまだ暑い。冷えたビールがおいしかった。さて最後はナイトズーらしいライオンを見に行くことになり、澤田藍雅君を先頭にライオン舎へ。澤田藍雅君を先頭に行くと言っていたのに肝心の藍雅君がいません。はぐれました。でもライオン舎の場所を知っているので後で来るだろうと思っていました。ライオンは3頭いて、檻の中を動き回っていました。なかでも雄の1頭は目が鋭く迫力がありました。

帰る頃になっても藍雅君が見つかりません。先

に出口に



迫力あるライオン

スノーフェスティバル準備進む

毎年開かれる東海ブロックスノーフェスティバルの準備が進みつつあります。今回は第22回になり、日時：2020年1月24日（金）夜～26日（日）

会場：平湯温泉スキー場 宿：源泉掛け流しの中村館 です。

準備会は第1回目は5月18日、第2回目は8月5日開き、岐阜と静岡からも参加して内容を検討しました。また、山スキーコースは7月25日、岐阜と愛知の山スキー部員で相談し、初めての企画としてガイドツアーをすることにしました。ネイチャースキーは昨年好評だった乗鞍子リスの径、スノーシューも乗鞍で新しいコースを考えています。各コースとも楽しい企画にしようとはりきっています。保育もあります。内容が決まればチラシ作りです。チラシも9月上旬には配布できるように準備中です。みんなで盛り上げましょう。

ぶなの木スキークラブ 新人歓迎山行 八ヶ岳・西岳

8月10日～12日、第3回目の新人歓迎山行を行いました。3年前に関西を中心に沢山の入会者があり、その時から新入クラブ員歓迎の山行を行い、今年は第3回目になり参加者は新人4名を含む16名でした。毎年クラブ員が増えるのがうれしいです。会場は姫木平にクラブ員の別荘があり、八ヶ岳に近いのでそこを利用させていただいています。

8/10（土）午後3時、別荘に集合。この日は大阪や東京からの参加者があるので集合だけ。



ゆっくり組 西岳頂上

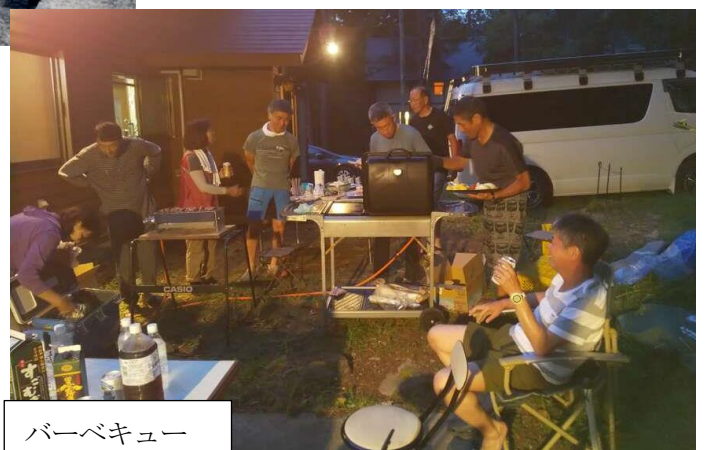
スラインサイクリング。往復60km。起伏の多いコースで高原の景色は抜群でしたが登りが長く疲れてたそうです。

この日の夕食はバーベキュー。別荘の主の心遣いで岩盤焼きと焼き鳥セット。ビールもすすみました。

8/12（月）朝解散。愛知からの4人は美ヶ原の茶白山へ。楽しい山行でした。（浅井）

8/11（日）12名が車で西岳に登山口に移動し、8:30出発。9:30、早い関西組みとゆっくり愛知組みに分かれて登り、早い組みは11:40には頂上着、下りは12:10に出発し14:13登山口着。登りは3時間、下りは2時間。本当に早い。昭文社の地図に書かれている標準タイムより早い。ゆっくり組みは12:30頂上着、13:05下り始め17:30登山口着。ゆっくり花を眺めながら歩きました。

他に2人はロードバイクでビーナ



バーベキュー